公表 事業所における自己評価結果

事業所名		APIMo中山教室(牧課後等デイサービス)	1			
中華所名		ルコペロー山東亜(収録保等ティリーと人) チェック連目	(ttv)	1915	公表日	R7年 7月 22日 課務的物質が決める
	1	デエック機両 利用定費が発達支援等等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	LXCCCOM	(株型) - (改版 9 へ 2 所
35 81	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	<ul><li>堪れた無をいつまでも使っていて免除。社員は</li></ul>	
- 体 製 製	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された理視になっている か、また、季単所の投稿等は、開塞の特性に応じ、パリアフリー化や 情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	・単江の間をいうまでも使うていて世界。在責は 上に報告時 ・施錠をした方が何いのでは? ・パリアフリーはしていない	・棚は築入いたしました。増わた原原、増れが、場の対 実面の検討等々、PDCAを地た延業等を定議書と伴せて 哲理解像なびは人を参に発出するプローを加めて開発に 解放しては、開発については、解他の「総括表」を ご確認ください。
66	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる程明になっているか。また、 こども連の活動に会わせた空間となっているか。	6	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められ	5	1	<ul><li>配慮はできているが、個別の修復とは言い難い</li></ul>	<ul><li>4月中にパーターションの施工工事を実施放します。</li></ul>
		る程明になっているか。 単限改高を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、		-		
	6	広く職員が参画しているか。	5	1	<b>未開新:1</b>	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	※回答:1 - 今回が初めて - アビセでは初の評価表の為、未実施	<ul> <li>開州して初めての評価アンケートを実施し、職員で手 後の会議を実施しております。改善や対象についての証 編出的紙「回納表」をご確認ください。</li> </ul>
解 鄰 坊 :	- 60	職員の意見等を把握する場合を設けており、その内容を業務改高につ なげているか。	4	2	・現場職員の意見はあまり通らず、上の職員の意 見が多い	・AGAの間間指対から、関係の他のペースで事業内内の ルールや原理時期が開催をしてきたと自由しておりま 、その中でもサービスの基準や別と関しては5人本 節が戻ますることであることを規模へおになし、「適る こともあれば通らないこともある」と収集にお願かせて
26	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改画につなげている か。	2	3	<b>未回答: 1</b>	原序ました。 ・6月に外部監査を実施的します。
	10	35. 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研 様を開催する機会が確保されているか。	6	0		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の ニーズで課題を否則的に分析した上で、放揮場等デイサービス計画を	6	0		
		作成しているか。 数課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任				
	13	着だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最高の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	放廃後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が 行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマル なアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセ スメントを使用する等により確認しているか。	5	1		
	16	放揮後等テイサービス計画には、放揮後等テイサービスガイドライン の「放揮後等テイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「車 策支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び女 境内各も指定えながら、こどもの支援に必要な項目が提出に設立する。	5	0	<b>未润苦</b> : 1	- HPC公開園
選り	17	れ、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 運動プログラムの立掌をチームで行っているか。		-		
な女授			1	5	・各担当職員が専回しっかり考えている ・基準分けはされているが、同じ内容が多いと感 じる	<ul> <li>プログラムの企業や実施外部の利利に関してはアンケート結果を受け、ま入りに会議を行いました。適当や対策については利利、同様表別をご確認ください。</li> </ul>
8 版 数	18	議動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 こどもの状況に応じて、個別活動と毎回活動を適直組み会わせて放課	4	2	- mmotrisess coops. 同じ内容が多いと感 じる	
8	19	裏等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 支援開始的には職員間で必ず打会せを行い、その日行われる支援の内	5	1	・行っているが薄いと感じる	
	20	客や役割分類について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・翌日に行っているが少ないことがある	・更新事業の情報外有に関しても構真企業にて丁華に検 到を貸しました。別はて情報外有の加工ある「特別ノート」の場所のに関する「大き」 ト」の場所のに取引を開発、終年外に情報外有を行う時 開発地ので異盟し、原とは時期の中でも十分以外指が 行えるよう特別を構成しました。詳しくは別誌「総務 割」をご確認ください。
	21	支援終了場には、職員間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の 振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	5		行大るよう時間を確保しました。 詳しくは明成「明明 表」をご確認ください。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につ なけているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放揮後等デイザービス計画の見直しの 必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等テイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み	5	0	未開新:1	
		会わせて支援を行っているか。	,		・依頼があれば行っているが、少ないと感じる	・機能のあるなしに関わらず、生活の様々な場面で「自 セア軍シア」「即分アコルテ」という軍権を終了る場合
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等。 自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。 障害売削減支援事業所のサービス担係者会議や関係機関との会議に、	4	2	・現場にほとんど入らない機員が行っている ・依頼があれば行っているが、少ないと感じる	・経験があるほしに関わらず、生活の様々な場面で「原 かで高んだ」「自分で決めた」という実施を持てる場合 を関わず支援につてい。個員のストルリや最高の良した効 まず、おかは1月に教育決定支援が開展が終ま来得がしま した。 ・現代、管理機をおり機関が対象をしています。また状 後の短用機関が出席することを選挙に表現します。 その後、学業等を代表し続いなって、現れた をの意、学業等を代表し続いるである。
	26	そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。			・依頼があれば行っているが、少ないと感じる	その際、事業所を代表し適切な場合で最終を発揮できる 職員かの選ぶは資勤に利助けせて選手ます。 ・制能「投資表」をご確認ください。
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		
	28	字校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の 確認等)、連絡調整(送延時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に 行っているか。	6	0		
保護	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども国、児童発達支援 事業所等との間で情報共有を相互理解に努めているか。	3	4	<ul><li>・依頼があれば行っているが、少ないと感じる</li><li>・要望に応じて行っている</li></ul>	- 新成 「柳田田」 をご確認ください。
9 8	30	学校を卒業し、旅算後デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ 移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	5	未開答:1 ・まだ該当児童がいない	
保護	31	か。 動域の伊莱登場を持たシターとの選擇を開り、必要等に広じてユー	1	,	東国著:2 ・原育センターとの連携は必要に応じて行ってい	・機能的に検討していきたいと考えています。詳しくは 別数「初級表」をご確認ください。
8 r #	31	バーバイズや衛星や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	るがスーパーパイズに関しては未実施 ・土曜日の支援テーマが非確立席となっており。	<ul> <li>土曜日の支援デーマについて再復、職員と認識の振り 会わせを行っています。幼稚室が保育物との透透も時度 的に行って行くうえて保育物等部間支援サービスの実施</li> </ul>
8 連 振	32	放酵後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する 機会があるか。	4	2	定期的に地域の施設やボランティア団体とのイベ ントを年間で企画している 未開答:1	会わせを行っています。幼稚園や保護性との健康も特徴 町に行って行くうえて保護性等別間支援サービスの実施 についても検討中です。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	SMR:1	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの発達の状況や課 題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	実施の対応力の向上を図る観点から、要施に対して単純支援プログラム (ペアレント・トレーニング等) や単純等の参加できる研修の機会や情報提供寄を行っているか。	3	3	・保護者会と向わせて、企画立案をしているが頻 表を思やして定期的な時候があってもよいと思う ・研修が地域のイベント案内等はLINEので発信	・保護者会の内容や登録日等について検討します。詳し くは別載「規制表」をご確認ください。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁草な説明を行っ ているか。	6	0	Leus	
	37	放揮後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の概念 の理意、こどもの保護の利益の優先考慮の報点を踏まえて、こどもや	6	0		
	38	要族の恩内を確認する場合を設けているか。 「物理事業デイサービス計画」を示しながらも様の袋の影響を行い	6	0		
		保護者から放揮後等デイサービス計画の問題を得ているか。 主期的に、原施等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、				
保護	39	を用いた。年度等がウル丁音(の間の号に対する時間に適切に適した 面接や必要な物質と支援を行っているか。 公長の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により。	6	0	・保護者会を年1の開催、ふれあい祭りでの	・句面のアンケート延伸より、ご養殖が一定数あること
8 > 28	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、 保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、 きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	2	交流を年1回行っている ・頻度を増やして、定開的な開催があっても 良いと思う	・今回のアンケート結果より、ご見望が一定数あること を確認致しました。陽極的に「できること」を検討し来 助して争ります。取り急ぎ、終りのよれ級小等りにて、 保護者様の士が兄弟、就談できるスペースをご見巻する 学定です。
Dt RR	41	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ 適切に対応しているか。	6	0		
*	42	定開的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することによ り、活動概要や行事予定、通路体制等の情報をこどもや保護者に対し	6	0		
	43	て発信しているか。 個人情報の取扱いに+分留限しているか。	5	0	未開新:1	
	44	脚裏のあるこどもや保護者との原思の政連や情報伝達のための配慮を	6	0		
		しているか。 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業運営を			<ul><li>まだ機会がない</li><li>・87年8月、12月の土曜にボランティア団体</li></ul>	・4月に関係して初めて、外部ボランティアをお話さし たパベントを企業しています。協力まにとって有機費な 時間となるよう事態、実施して参ります。
	45	聞っているか。	0	6	・R7年8月、12月の土曜にボランティア団体 を築いたイベントの開催を企画している	対関となるよう事態、実施して参ります。
	46	単拡防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、係条 症対応マニュアル等を施定し、職長や家族等に関加するとともに、発 生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	華民職続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、 定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事物に、脳薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認して いるか。	5	1		
# #	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が されているか。	4	1	素調査: 1 - 試別する児童なし	・事務性に「食物アレルギー対応表」を実示しておりま す。世間の対プレルギー研修等で対プレルギーマニュ アルや対応表の法程系について職員の学びに加げて参り
55 55	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な構造	5	0	未開新:1	ます。 ・7月の株員研修にて、変化計画を取り扱っています。
8 # 8	51	を購じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 こともの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう。安全計	5	1		・7月の株員目標にて、交合計画を取り扱っています。 安全計画に向かる場合で研修を実施した際には、UNG のにてご刊用着係に用記するプローを放めて株員間で確
9		面に基づく取組内容について、要素等へ周知しているか。 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発的点に向けた方角について検				のこてご刊用格様に開発するフローを改めて職員間で理
	52	とアリットを中央的サイス的し、西州的正に向いたカ南にしいく依 封をしているか。 虚符を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をし	5	1		MMUといい。 ・ヒヤリリット事例があった場合、成支の政務用紙に記 は、事業的外級性所に振り返りや対策について特許する 前間を設けております。確認の前後を思やすなどの特別 をしながら、より安全に減ごせる私の制度つくりに発か
	53	虐待を助止するため、職員の研修機会を確保する等、週間な対応をしているか。 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決	6	0	未開新:1	
	54	とのような場合に中心を呼ぎ時体内をを行うかについて、知識的に決 定し、こともや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後 等テイヤービス計画に記載しているか。	6	0	-	